

授業の中には予習が必要なものもあり、一貫生に比べて授業のスピードが速いため、最初のうちは大変だと思ってしまうかもしれません。しかし、先生方が懇切丁寧に教えてくださるため、授業についていけなくなるということは全くありませんでした。また、茨高は課外授業の種類が豊富なため、学習塾に通わなくても自分の弱点をつぶしていくことが十分に可能です。私も入試問題を解いて実力アップを図るという英語の課外授業を受けていましたが、幅広い知識を得ることができました。

卓球部に入部した当初は、高入生ということで不安もありました。しかし個性的な仲間たちと出会い、切磋琢磨していくことで最後まで部活動をやりきることができました。最後まで何かをやりきったという経験は私を精神的に強くしてくれただけでなく、一生の財産として記憶に残っていくものであると私は考えています。よく勉強が忙しくて部活動に費やす時間がないといった声も聞きますが、私は部活動に入ることを強く勧めます。きっと学校生活を豊かなものにしてくれるでしょう。学校行事では、文化祭やクラスマッチで普段見ることのできない同級生の一面を知ることができ、楽しく過ごすことができました。

茨高の良いところは、生徒の意見や考えを尊重してくれるところにあります。私の場合は中学の時から公認会計士になりたいと考えていたため、面談の時に国家試験に強い大学に行きたいと考えているということを先生に伝えたところ、背中を押してくださいました。加えて、茨高ではキャリア教育にも力を入れており、自分の将来像がはっきりしていない人でも自分のやりたいことを見つける機会を与えてくれると思います。一貫生との関係は大きな不安要素の一つでした。関わる機会が部活動以外になかったため、高3で同じクラスになることに少しばかりの抵抗感や不安がありました。しかし、いざ同じクラスになってみると何の心配もなく過ごすことができ、今思えば杞憂だったように思えます。

進学後は在学中に公認会計士試験合格を目指して日々精進し、将来は信頼される公認会計士として社会に貢献していきたいと考えています。そして、茨高で培った知識や経験を糧にし、視野の広い人間へと自分を高めていくことを目標に大学での4年間を過ごしていきたいです。